



太陽光発電の 長期安定電源化に向けた ベストプラクティス

一般社団法人日本PVプランナー協会
専務理事 馬上丈司

日本PVプランナー協会は

太陽光発電の普及を通じて脱炭素化社会の実現に貢献することを
宣言します。



ソーラーシェアリング / 営農型太陽光発電 / Agrivoltaics



営農型太陽光発電の推進

- ✓2013年から営農型太陽光発電に取り組む先進地視察を重ねてきたほか、営農型太陽光発電をテーマにしたセミナーや勉強会も開催。
- ✓毎年の全国会員大会でも農林水産省から基調講演をいただいているほか、パネルディスカッション等のテーマとしても取り上げてきた。
- ✓近年は会員企業において農業参入を含めた営農型太陽光発電に取り組む事例が増えてきており、地域と密接に関わった太陽光発電事業の実践例として新たな地域貢献にも繋がっている。

当協会10周年記念式典における
会員企業が営農型太陽光発電で栽培した作物の展示



当協会10周年記念式典における
会員企業が営農型太陽光発電で栽培した作物の提供



地域農業と共存する太陽光発電として

- ✓ 営農型太陽光発電は地域農業と共存し、農業生産にも再生可能エネルギーの活用を可能とすることで、私たちの社会に不可欠な食料とエネルギーのそれぞれを確保することに繋がる。
- ✓ 農業生産と密接な関わりを持つことによって、太陽光発電事業も長期的かつ安定的な運用が可能となるほか、メンテナンスと農業生産の人材共通化などにも取り組み得る。
- ✓ 地域農業の担い手として、地場のEPCが果たす役割も大きい。

長期安定電源としての責任を果たす

- ✓ 私たちの社会に不可欠な食料の生産を担う農業・農村の脱炭素化を進めることは、持続可能な社会作りの基盤となる取り組みである。
- ✓ 例えば農村部にEVモビリティが普及し、住宅でのV2Hの導入が進めば、日中に畑で電気を収穫し夜は自宅で使うような生活モデルも生まれていく。「生活電源」としての太陽光発電の役割が明確に。
- ✓ 太陽光発電が常に人々の日常の営みに寄り添う場所に存在することによって、長期安定電源としての責任を果たすことが出来る。



営農型太陽光発電による持続可能な農業と再生可能エネルギー生産を





太陽光発電で 次の世代に 豊かな未来を

一般社団法人日本PVプランナー協会